

轍 2022



なかよしさいくる

目次

Coast to Coast 320km OB1 青木

思い出が蓄積してきた 4年 小野

Coast to Coast 320km

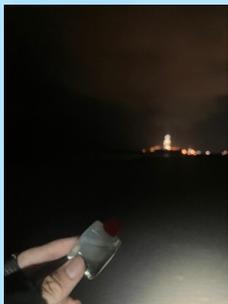
OB 青木 慧

Japan

- 目次 -

0. はじめに
1. 丑三つ時のマツケンサンバ
2. 超越
3. 1200円の仮眠所(無料釜めし付き)
4. 許しがたい詐欺行為
5. 日本海と5段階
6. おわりに

2022.9.16



0. はじめに

ご無沙汰しております、OBの青木です。現役の若い皆様は私のことを知らないと思いますので、自己紹介をさせていただきます。2018年に入学し、駒代・会長の職を経て今年の春に引退したのち、今では上皇として院生をやっています。夏になってなぜか自転車熱が再燃し、乗鞍ヒルクライムに出場したり、ブルベにエントリーしたりしています。その流れで、太平洋に面する神奈川県江ノ島をスタートして日本海岸の新潟県直江津を目指す、“Coast to Coast (C to C)”にチャレンジしてきたので、ご報告します。

【登場人物】

- ・青木：この文章を書いた人。ブラケットエアロポジションにハマっている。
- ・武縄：一緒に走った人。C to C 実行を企てた。

1. 丑三つ時のマツケンサンバ

2022年9月16日午前0時、二人は片瀬江ノ島駅で集合した。輪行解除して走り出せば1分とかからずに砂浜に出られる。ビンディングシューズで砂浜に分け入り、靴下を砂まみれにしながら太平洋の海水を採取する。この水を直江津まで運び、日本海に注ぎ込むしきたりらしい。軽い環境破壊ではないかとの疑念も覚えるのだが、そういう儀式なのだから仕方ない。私は使い切りサイズの調味料入れを容器として持参していたが、武縄は容器を忘れたためにコンビニで天然水を買って飲み干し、空いたボトルに塩辛い天然水を詰めていた。

0時18分に片瀬東浜交差点を渡り、長い1日が始まった。新歓ランでもお馴染みの藤沢から江ノ島に下る国道を逆走し、藤沢市街地を抜けた後も境川CRには入らずそのまま国道467号を北上していく。信号はやや多いものの車通りはほとんどなく、快調に飛ばす武縄のケツを追いかけるだけであっという間に全長20kmの国道を走破してしまった。

大和からは多摩丘陵を縦断して多摩川に向かう。町田の市街地では10台以上の消防車がサイレンを鳴らして次々に走っていき、この世の終わりかと思った。昼間ならば信号や渋滞でストレスを溜めがちな町田や多摩ニュータウンの都道も、深夜に走ればイカしたアップダウンコースだった。野猿街道に入って京王線の踏切を渡り、2:31、ほぼ予定時刻通りにこの旅最初の休憩所であるファミリーマート日野四谷橋店に到着した。

ロングライドの鉄則は、「少しでも長い時間走る」ことである。出発時刻を早くすること、休憩時間を短くすること、そして信号や渋滞による足止めを減らすことが重要だ。ここまで、見える景色といえば街灯と車のバックライトくらいのものであった。それでも、昼間なら足止めの多い都市部をこれだけのスピードで脱出するためには、この時間にスタートするしかない。いったい何が楽し



くて何のために真夜中に走っているのかわからないかもしれないが、走っている我々にもわからない。ロングライドとはそういうものなのだ。

補給を済ませて再スタートし、四谷橋で多摩川を渡った。立川からはしばらく多摩モノレールの高架下を進む。終点の上北台までモノレールに付き合い、ちょっとしたヒルクライムを経て多摩湖の堰堤に登った。ここまできると街明かりは遠くに望むばかりになり、静まり返った水面には堰堤の天端を照らすライトの光が映り込んでいた。暗闇の多摩湖畔を離れて少し進むと、今度は狭山湖の堰堤に入る。多摩湖と違い、こちらは車道のない遊歩道で、より物寂しい風情が漂っている。頭上には



星々が、遠くには東京の夜景が望め、ナイトラン中のささやかな癒しであった。ロングライドの鉄則を守ってすぐに出発すると、両脇の電灯だけが微かに照らす道を見た武繩が「心霊スポットみたいなやな」などと言い出した。時あたかも草木も眠る丑三つ時である。狭山湖近辺といえは数年前に実際に心霊スポットとして有名だったことを思い出してにわかに背筋が寒くなってきた。精神的につらい時は陽気な歌を歌うに限る。湖畔から麓の住宅街に続く下り坂にはマツケンサンバIIが響いていた。

2. 超越

深夜でも交通量の多いR463,R299を秩父に向かって走り、飯能からは県道30号に入った。ここから寄居までの40kmは関東山地の東端に沿って緩いアップダウンが続く。小さな峠を2つほど越えて越生の町に入ると、東の空が明るくなってきた。5:06、予定よりも少し早く2つ目の休憩所のセブンイレブンに到着したが、開店前であった。気を取り直して近くのコンビニを探し、5km先のファミリーマート野原五明店で改めて休憩を取ることにした。



幸いにもイトインスペースのあるコンビニだったので、6時間ぶりにサドル以外の物体に体重を支えてもらうことができた。江ノ島からここまでおよそ90km。全行程の1/3にも達していないが

既に脚の疲労が気になり始めた。武縄もかなり疲れているようである。ロングライドをキメて嗜んでいる皆さまには共感していただけることと思うが、100kmを超える距離を走っていると、疲労を「超越」する瞬間が訪れることがある。80~90kmも走っていると疲労が溜まってペダルが重くなってくる。先を思って弱気になるのだが、ここで我慢してペダルを漕ぎ続けると、120~150kmほど走ったところからは疲労を感じにくくなり、無心で進めるようになる。アップダウンによる消耗もあったかもしれないが、主観的にはこの90km地点が疲労のピークであった。

疲労感を残したまま、きっちり15分で休憩を終えて再スタートした。小川町からR254に入り、玉淀大橋で荒川を渡ると田畑の中を緩やかな登り基調で進むのどかな区間が始まった。累積距離は120kmに迫り、私も武縄も一定のテンポで踏み続ける「超越」モードに入った。7:13、予定より20分早く3つ目の休憩所、ローソン神川元阿保店に到着した。超越モードに入ると心を無にして進み続けるだけなので、写真も撮っていなければ書くこともない。

群馬県が目前に迫り、直江津までは残り200km。まだまだ先は長いように見えるが、2人の超越者は「200km台は未知の世界だが、100km台ならば経験済みだ」と強気だ。

3. 1200円の仮眠所（無料釜めし付き）

時刻はおよそ7時半、通勤通学で道が混み始める時間帯に入った。この埼玉群馬県境のR254も激しく渋滞しはじめた。県境の神流川は渡れる橋が少なく、交通が集中するのだからなおさらだ。予想していたこととはいえ、ペースが一気に落ちる。藤岡市街を抜ければ渋滞は無くなるが、こんどは碓氷峠に向けた緩い登りが始まった。1%弱の勾配ではあるが、前を引く武縄は少し辛そうだ。私は相変わらず超越している。



富岡からははっきりと登り基調になり、小さな尾根を越えるとこんどは畑の中を進む高原道路の様相になってきた。斜度2%未満の無理をしなければ簡単にこなせる登りで、まだまだ脚は回るが、出発から既に9時間が経過し、眠気が強まりはじめた。碓氷峠を登る前に横川のおぎのやで仮眠が必要そうである。松井田でR18に合流するとさらに斜度がきつくなる。本格的な登りの始まりを感じつつ、9:44、貯金を10分減らして横川に到着した。

おぎのやといえば峠の釜めしであるが、補給食にするにはやや見た目がヘルシーすぎる。ここはカロリーの高いカレーを食べたいところだが、フードコートの店舗は10時オープンだったのでそれは叶わず、峠の釜めしで妥協した。





おぎのやでは 15 分程度の仮眠も含めて 40 分ほど休憩し、碓氷峠の登りに入った。碓氷峠は平均勾配 4%弱で 15km 登るとい特徴的なヒルクライムコースである。坂本宿を過ぎるまでの序盤数 km はやや勾配がきついが、めがね橋からはかなり勾配が緩み、調子が良ければ 20km/h 前後で登っていける。後半は緩勾配と単調なカーブの繰り返しに飽きてきたので、一刻も早く登りきりたくて踏みまくってしまった。

4. 許しがたい詐欺行為

碓氷峠を登りきるとついに長野県、日本海側に踏み込んだ。時刻は 11:40、江ノ島から 180km と、まさに CtoC の折り返し地点である。ここからは長野までずっと下り基調で信号もさほど多くない。予定時刻も早めに設定してある。脇目も振らずに軽井沢の市街地を通り抜け、R18 を一旦離れて浅間サンラインに移った。浅間山麓を走る農道で、上田まで約 30km 続く長いダウンヒルが楽しめる。碓氷峠の登りでやや時間が押してしまったこともあり、上田まで 1 時間を目標に突っ走った。ここまでは 40km を目安にコンビニ休憩を入れてきたが、走行距離が 200km を超えて疲労が溜まってきたこととおぎのやでカレーが食べられず若干補給不足気味だったこともあり、上田でもしっかりと食事をとることにした。13:33、予定より 15 分ほど遅れて上田のすき家に入った。ようやくカレーが食べられる。



席に着くや否や、迷わずカレーの大盛を注文した。想定よりデカイカレーが出てきて面食らったが、貴重なカロリーである。サイクリストの例に漏れず食べ物はカロリーにしか見えない私は、胃袋に鞭打って少しずつカレーを飲み込んでいった。



ここでもかなり疲労が溜まっていたこともあり、仮眠を含めて約 50 分休憩した。仮眠の甲斐あって出発するときには少しだけ元気が出た。上田からは R18 に戻り、追い風を受けながら千曲川に沿ってぐいぐい下っていく。脚は相変わらず超越状態でよく回るのだが、深夜 1 時に轍の執筆をしている時くらい眠い。さすがに危険を感じたので、コンビニに入ってコーヒーとブラックブラックガムをキメた。

R18 から離れて長野市街地に入ったのは 16 時過ぎ、少しずつ日が傾いてきた。長野駅前を過ぎると、この旅のラスボス坂中峠へと続く上り坂が始まった。長野は山に囲まれた盆地に位置することもある、坂の多い街である。37 万人を数える人口は狭い善光寺平には収まりきらず、横浜や神戸のように傾斜地にまで住宅が広がっている。山を背負った街は大好きだ。この旅で唯一観光気分になった瞬間だった。

坂中峠の登りは、平均勾配 6%、距離 5km というスペックである。序盤は住宅地の中を急勾配のつづら折りで抜け、その後は少し勾配が緩んでまっすぐ登っていくという、秩父の山伏峠に似た雰囲気のある峠であった。序盤のつづら折りで長野の市街地が眺められるスポットもあり、比較的楽しく登ることができた。

ただ、峠の下を貫くトンネルに入っても登りが続く上に、トンネルを抜けてからもまだ登りが続くのは完全に紳士協定違反である。到底許しがたい詐欺行為を目の当たりにし、怒りに打ち震えていた。



5. 日本海と 5 段階

坂中峠から少し下って同じくらい登り返すと飯綱高原に出る。黄金色の稲穂と黒姫山のシルエットが夕暮れに映えて美しかった。野尻湖畔でみた R18 に復帰し、長野・新潟県境のセブンイレブン信州信濃町野尻店に到着したのは 18:05 であった。

ここからは関川の流れに沿って 700m の標高差をひたすら下り、40km 先の日本海を目指すのみである。反射ベストを着込み、ライトを点灯させて最後の休憩を終えた。

ナウマンゾウの像を横目に走り、関川を渡ればよいよ新潟県に入る。R18 は直線と緩いカーブの繰り返しで一定の下り勾配が続き、さながら山中の高速道路である。冬にタイヤチェーンで削られるせいか路面の凹凸がかなり酷く、振動で脳みそをバターにしながらかつていた。30km を 1 時間で下りきり、直江津まで続く高田平野の田園地帯に入った。夜の田園地帯は海と区別がつかないので実質ゴールである。

2 度目のナイトランはひたすらに退屈だった。ゴールが見えたことで、スタートした時のような不安感や緊張感もなく、少しずつ高まる達成感と高揚感に身を任せて進んでいた。北陸新幹線・北陸自動車道・国道 8 号・日本海ひすいライン（旧北陸本線）と、次々に交差するたびに日本海が近いことを実感する。ロードサイドの店舗が賑やかな、長野以来 60km ぶりの都市だ。直江津駅の手前で左折して砂丘のわずかな高低差をこなすと、三叉路に突き当たった。



船見公園には街灯がなく、遠くに見える工場の明かりと月明かりだけが頼りだった。護岸の上に自転車を置いてビンディングシューズで砂浜に分け入り、靴下を砂まみれにしながら波打ち際にたどり着いた。江ノ島の海水を取り出し、日本海に注ぐ。総距離 325km を人力だけで、19 時間 30 分かけて運んできた海水だ。ついに Coast to Coast を達成した。

インターネットの誰かが言っていた。ロングライドは低次の欲求を犠牲にして高次の欲求を満たす行為であると。日く、生理的欲求（睡眠・ケツ）、安全欲求（事故）を生贖に捧げて承認欲求や自己実現欲求を召喚するのだと。ゴールを果たして高次の欲求が満たされた我々には、低次の欲求のみが残された。腹が減った。早く風呂に入りたい。海岸から 3km ほど戻り、「門前の湯」で一目散に風呂に入った。爛れたケツに染みる最高の温泉であった。併設のレストランでは日本海の海の幸を食べることができた。願わくは米どころ新潟の日本酒も飲みたいところだったが。

時刻は 23 時を回り、閉店時刻に合わせて門前の湯を出た。宿泊先は快活 CLUB 上越市役所前店である。最後まで低次の欲求を犠牲にした旅行であった。

翌朝、寝坊して武縄に起こされるという人生最大の屈辱を味わった私に観光を楽しむ気力などなく、大急ぎで準備を整え、最寄りの春日山駅から輪行して北陸新幹線で帰京した。

6. おわりに

当初は軽井沢や小諸周辺で 1 泊し、2 日間かけて直江津を目指す計画であったが、キューシートを作ってみると 1 日でも行けそうなことがわかり、ナイトランを含むちょっと過酷な日程になってしまった。とはいえ、実際に 325km を走り、200km、300km のブルベは余裕を持って完走できるペースで走れたことは自信とモチベにつながった。これからも、ブルベや初級キャノボなど、今まで手の届かなかったロングライドにチャレンジしていきたいと思う。

この記事を読んで C to C に興味を持った人のために、実際に走行したルートと作成したキューシートを公開する。参考にいただければ幸いです。

【ルート】 <https://ridewithgps.com/routes/40960040>

【キューシート】 <https://bit.ly/3rIXaCF> (リンク先は Google ドライブ)



思い出が蓄積してきた

NC 4 年 小野

現在 2022 年 10 月 3 日 22 時 43 分、昨日は後閑杯に参加しました。今年は後閑杯のために一人で前泊を行い、河口湖まで行く過程が1日の割に大分面白かったので簡単に報告しようと思えます。なんか走っていたら面白い出来事が寄ってくるのです(後で否定します)。

後閑杯に参加するのは今年で 3 回目です。2019 年には東京大学山中寮に出走者たちと宿泊しました。あの時は小田原まで輪行して箱根旧道から小涌谷まで上がって乙女峠から御殿場へ、籠坂峠を越えて山中湖へ降りたのでした。19 年の台風 19 号の直後だったので箱根登山鉄道に木が流れ込んでおり、小涌谷から峠方面へ通行が出来なかったような気がします。小雨が降ったりやんだりしていたのを覚えています。タイムは 1 時間 50 分ちょっとでまずまず。何より天気がとても良かったのが記憶にあります。2020 年は元々参加する予定だったのですが、同期が何人かキャンセルをして僕一人になってしまい、モチベーションが 0 になったので申し訳ないと思いつつキャンセルの連絡をしました。これが参加者 7 人の回。2021 年はどうだったかなと会報を見返すと、3 年僕しかいないやんげ。出走は 10 人でコンディションは結構悪く小雨が降っていたんだっけ。タイムは 1 時間 59 分と 2 年前より落ちてしまいましたが、これには明確な理由がありました。前泊はせず東京を始発の電車を出て大月で下車。そこから都留を通過して世界遺産センターまで走りました。しかし始発ということで微妙に時間の余裕があるのです。行ったことのない場所に行くという欲求を抑えられず河口湖を一周(20km)することに。時間はないものの良さげな芝生の上、青空の下で寝たりしているとやっぱり時間がない訳です(日本語)。つまり朝飯をゆっくり食べる時間がない。一周した後にコンビニに駆け込んで飯を買い込みビニール袋を提げて走る。集合場所にギリギリに着いてすぐ正座、地面に買ったものを置いて朝を食べました。ここでパンを 11 個食べて直後に出発したことにより途中で吐き気、胃液を少し出すと楽になりましたがスピードは出ず、1 時間 59 分という結果でした。加えて眺望は全くないしダウンヒルは雨の中で怖かったです。

これを踏まえて 2022 年はどうでしょうか。OB になっても参加「可能」とは言え気持ち的には今年が最後(この最後という言葉については別の北海道記事で少々語る予定)なので後悔ないように終えたいかな。せっかくなので行ったことのない場所に行こうと考えて前泊することだけ決めました。ある時 Google Maps を眺めていると身延町にめっちゃ面白そうな宿がある！ただ、宿から集合場所までどう足掻いても 800mUP を強いられるけど。通り道の本栖湖、精進湖、西湖、赤池も見て富士六湖コンプだ！期待は全くしていないものの Strava で同伴者を募りますが、しばらくして「紅葉の時期なら最高の感動を味わえる可能性があるな」と考え投稿は削除、河口湖西端の民宿に泊まることを決定しました。最終的に決めたルート(大雑把に)は中央本線のどこかまで輪行して笹子峠と御坂峠を越えて河口湖に北から入るといったものでした。ただ、最後の年という

ことでスバルのタイムも狙いたくコースに追加要素を入れるかはその場で決めるという感じで行こう。普段は全く運動せず家と大学を往復しているだけですが、一応先週から運動不足解消と後閑杯を見据えてランニングを始めていました。

9/30 (金)

研究室のミーティングを終えてしばらく作業。カーボローディングというものを初めて行おうとしましたが忙しくてまともな飯が食べられませんでした。夜にパスタを 2 束食べて 22 時就寝、のつもりがモノを読んでいたら 0 時半前になってしまいました。一応始発に乗ろうとは思っていましたが行く用意はしておらず、北海道で汚れた自転車を水洗いし外に干していたのみです。明日は時間の余裕があるので電車に乗り遅れても良いし気楽に行こう。

10/1 (土)

3:24 起床。起きられてしまったので急いで準備をして始発電車を目指します。起きたらすぐに朝飯としてパスタを 2 束茹でてその間に行く準備、4:11 出走。少し余裕を持って中央本線の始発に乗車できました。この始発電車には何回か乗っていて、前は去年の 11 月に大月まで輪行した時だったか。この時期にこの電車に乗っていると立川を過ぎた辺りで朝焼けが綺麗に見えるのを思い出して、昔の思い出を懐かしんでいました。



高尾で下車し乗り換えます。見覚えのある景色、見覚えのある時刻表。同じホームで待って 6:02 大月行きへ乗ります。あれ？去年の 11 月ということはこの電車・この路線に乗るのは 1 年ぶりということですか……。中央本線の高尾—大月の車窓は結構好きで、渓谷沿いや町の中、住宅の上空を橋で渡って飽きません。さて、どこで降りようか。大体の人(この場合自転車乗りの人)は大月で降りるでしょうが、それじゃあ面白くない。

せっかく自転車なのだから 1 駅か 2 駅手前で降りても良いでしょう。そこで何に出会うかは分からなくて、これが面白いのです。

(高尾—相模湖—藤野—上野原—四方津—梁川—鳥沢—猿橋—大月)

相模湖は気になるのだけどちょっと遠すぎるからまた別の機会にしよう。藤野は実質相模湖だから却下。上野原は何回か使っているし四方津もまだ遠いな。梁川は同じことを考えて降りたことがあって、良い感じの渓谷を見られた。猿橋は何回か行っており鳥沢は一回だけ使った。降りるなら鳥沢、結局同じように輪行している人が 2 人おり、その人たちはきっと大月で降りるだろうから話せないかなと期待して大月で降りることにしました。大月駅 6:38 着。



扉が開いて澄んだ大月の空気を味わって歩いていると改札を出るところで気になる記述が。

大月駅 開業 120周年 since 1902.10.1

えっ？ピンポイントに今日なの！？しかもイベントが大月駅であるらしい。大月駅には何度も来ていて自分と無関係な駅とは言えないので参加したい所です。

3年前の6月、上日川祭の時に来たのが初めてでした。あの時はハンガーノックなんて言葉も知らず道の駅たばやまで本体とは別れて一人で今川と松姫を越えて大月へ出て自宅まで暗い中走ったのでした。後閑杯の行きと帰りには使いますし明神際の帰りにも2回使っています。あとは大月駅出発のライドを2,3回と思い出のある駅です。



駅の外にチラシがあったので見てみます。

2022.10.1 大月駅前 9:15 start

現在 2022.10.1 大月駅前 6:50 です。市長の挨拶に始まり高校生による吹奏楽の演奏やグッズ販売、ミニ SL 乗車など様々なイベントがあるようで是非とも参加したい！始まるまでの時間をどうやって過ごすのが考えどころで、①大月駅周辺の散策、そして②笹子峠を越えて甲斐大和まで行き、自転車を停めて自分は電車で大月に戻ってくるという2つの案を考えました。①なら自転車を置いて岩殿山に登るつもりでしたが、結局選んだのは②でした。交通費も往復で660円しかかかりませんし。

今回は大月駅から始まります(6:57)。大月駅から笹子駅までは10km ちょっとで今調べると240mUPらしい。そんなに上っていたのか。実は大月駅より西は走ったことがなく結構ワクワクしていました。翌日に後閑杯を控えていたのでゆっくり走ることを意識していました。初狩駅に寄ってローソンでおにぎりを3つ購入して笹子駅を目指します。



7:35 初狩—笹子間にて

これは中央本線に乗った時に車窓からマークしていた物件です。この橋は中央本線の現役橋梁ですが、奥に並行して旧線の橋台が残っています。このように中央本線には廃止区間が何か所もあり、近くを通った時には探索することを視野に入れていきます。例えば鳥沢—猿橋間の隧道はランの集合前(1年11か月前)に行きました。

7:58



8:00



笹子峠は甲州街道最大の難所であり、東海道で言う箱根峠のような存在です。下の地図を見ると分かるようにトンネルが何本も掘られています。



- ① 笹子隧道(K218) 239m 1938～
- ② 新笹子トンネル(R20) 2,953m 1958～
- ③ 笹子トンネル(中央自動車道)×2
上り:4,784m 1977～
下り:4,717m 1977～
- ④ 笹子トンネル(中央本線)×2
下り:4,656m 1903～
上り:4,670m 1966～
- ⑤ 御坂笹子トンネル(リニア) 14,613m
- ⑥ 新・新笹子トンネル(R20) 約 3,300m

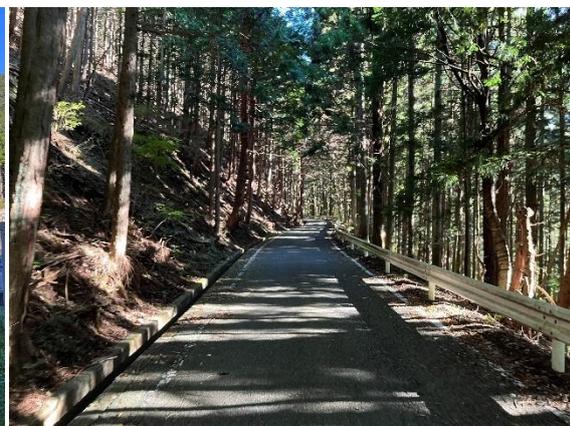
②は自転車で一応走れますが結構危ないので推奨はしません。①がこれから行く笹子峠の旧道であり、頂上にトンネルがあります。2012年に天井板が崩落して死者が出たのは③のトンネルです。笹子峠南方を東西に走るのは山梨リニア実験線のトンネルです。②の笹子トンネルの老朽化のため横に⑥の新トンネル建設が進められています。

笹子峠の旧道はトンネル手前から分岐しますが一旦笹子トンネルを見に行きました。2,953mと一般的には長く感じられるトンネルですが、僕は去年と違いトンネルを通り過ぎていたのでよくあることぐらいに思いました。日光一足尾の日足トンネルが2,765mで同じぐらいか。トンネル手前からの眺めがまあまあ綺麗でした。

さて、笹子峠の入り口へやって来ました。Stravaのセグメントは少し手前からになっていることに注意します。坂は確か6kmの5%(この時はそう思っていました)なので後閉杯を想定してTTでもしてみるかと。

8:04 登坂開始

8:09 雰囲気が良い



自転車の重量が一とかWがFTPが一とか今まで走ってきて意識したことなどありませんが、スバル90分が200Wらしい(正誤は知りません)。とりあえず朝一の疲れていない状態で走る笹子峠でのパフォーマンスからタイムが大体分かるかな。TTなので写真はほとんど撮っておらず8:28に笹子隧道に到着。時速13か14ぐらいしか出なかったな～。この4倍の距離ですか……。まあ結果は後で見よう。

8:29 笹子隧道 標高1,070m



今日の僕は適当なので電車の時間は調べません。さっさと下って甲斐大和を目指します。路面はそんなに良くないのですが、上って降りる中で車が2,3台しか来ず空いているのはポイントが高いです。また、眺望はあまりないものの杉林の雰囲気が良かったのと斜度もそんなにきつくないと思うのでおすすめします。そんなこんなで甲斐大和駅に到着したのは8:52。2分前に大月行きが行ってしまったようです。

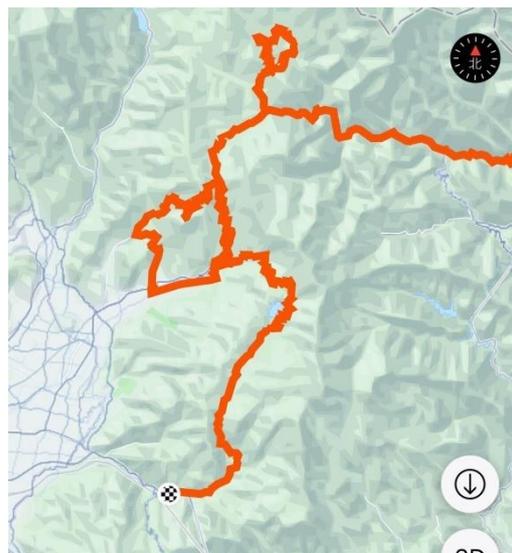
イベントには遅刻しますが9:24発に乗ることにします。

ここで Strava を止めると、ここまで 30.94km の 754mUP でした。自転車は駅前に無料の駐輪場があったので置いていきます。笹子峠のログを見ると 5.23km368mUP7%を 23' 08 の 195W(当てになるかは知らない)と表示されており……、5%じゃなかったのかよ。上日川祭の甲斐大和側から上るやつと勘違いしたみたいです。まあスバルは 105 分目標ぐらいかな～。

甲斐大和は一度自転車で使ったことがあるのです。記事にはしていない狂ったランがこちら↓
なんとこのランは 2021 年 10 月 2 日と 364 日前のものでした！！



距離	209.04 km	獲得標高	4,850 m
移動時間	13:34:25	平均パワー	115 W
平均速度	15.4 km/時	カロリー	6,257 kcal



コース：—青梅—丹波山—犬切峠—ノ瀬高原—柳沢峠—上条峠—柳沢峠—上日川峠

最後の上日川峠では限界で歩いて 6km 上り、下りも余裕がなく周りを眺められなかったので今日はその辺りも回収できたらと思います。

9:31 さっき走ったとこ……w



甲斐大和のホームで買っておいたおにぎり 3 つを入れて乗車。つい 1, 2 時間前に走っていたところの真横を電車で戻っているのが面白い。9:41 大月駅に戻ってきました。イベントは始まっているようで駅員さんの群れとすれ違います。あー。あれは終わっちゃったか、紅白のテープカット。高校生が吹奏楽の演奏を行っているので取り敢えず聴きに行きます。グッズ販売は 10 時からとのことで 30 人ほどの待機列が出来ていましたが、グッズは先着 100 か 120 名なのでまだ並ばなくて大丈夫。

グッズは先着 100 か 120 名なのでまだ並ばなくて大丈夫。

10:04



都留高校吹奏楽部と同じく書道部のコラボレーション。観客は地元の人が多かったように見え自分はそうではないのだけど、大月には何度もお世話になっており思い入れがあります。自分はただの外部からの観光客ではないのだ、自分もこの雰囲気になじんでいる気がする。

10:06 僕は良い写真だなと思います



パフォーマンスが終わり、次は物販の列に並びます。吹奏楽と書道から男声合唱へとステージは移りますが目に見えて観客が減ってしましますが、列に並びながら聴いていると予想をはるかに超える良い声で驚きました。物販では色々売っているけれど目当ては限定100個のマグネットです。駅弁は気が向いたら買う。列の前の方まで来てマグネットが1,200円だということを知り面喰いますが今更列を抜ける

のも憚られ購入してしまいました。3つ入っており、120周年の大月駅・猿橋駅・鳥沢駅の3つ。良いイベントでした！偶然に感謝！

次の電車を調べると特急あずさ・かいじ・富士回遊が過ぎた後に10:46松本行き。少し時間があるのでおにぎり1個を食べます。普段はパンなのですが、ヒルクライム前はおにぎりの方が良いとネットで見たので鵜呑みにしておにぎりばかり食べました。再び中央本線に乗って甲斐大和にも出てきたのは11:03。自転車の盗難などはなく無事でした。

甲斐大和周辺でここには絶対行こうと決めていた場所があります——温泉です。上日川祭に行ったことのある人は分かると思いますが、甲斐大和から上日川峠へ登っていくと温泉がいくつかあります。駅から5.3km353mUPでやまと天目山温泉、9.4km585mUPで嵯峨塩釜泉。両方



行きたかったのですが時間と体力を考えて前者のみに行くことにしました。ところがこの道の厳しいこと、上日川は逆から上っても上日川なのでした。前半は良いものの後半の2.5か3kmぐらいが10%近く結構きつい。後閑杯前日ということととにかくゆっくり上りました。これまた上日川祭参加者だと思いますが天目トンネルを抜けてちょっと上ったところがやまと天目山温泉です。11:39到着。

【やまと天目山温泉】ここは、まあまあ良かった。

日本有数の高アルカリ泉！というのはどうでも良くて……、だってヌメヌメするだけなら普通だし。この温泉は冷たいのです！一般的な意味の温泉は 40℃や 50℃と暖かくある必要はなく、冷たい水が地中から湧き出すことだってあるでしょう。この温泉の源泉はなんと 29.6 度でした。これが冷泉か……と思ったのですが温泉の定義には 25℃以上というのがあるので該当しません。冷泉とか鉱泉にハマりそうです。

入場料は 520 円でオリジナルタオルも 280 円なので入浴後に購入しました(!?)。温かいお湯は源泉を加温しており、まあ普通の温泉でした。冷泉(正確には違うけれど)に入りたいのですが、爺どもが目を閉じて居座るからなかなか入れない。しばらく待っても空かないので、浴槽のちょっと浅くなっているところに寝ることにしました。この浴槽はマジで良くて、みんな居座る気持ちも分かるわ。長居しないようにとの張り紙もあるし。「ああ〜」って感じの気持ち良いとは違うんだけど「はあ」って感じの居心地の良さがありました。男 5 人交互に寝転んで混んだ浴槽、15 分は入っていたかな。近くを通ったら何かを犠牲にしてでも行ってみてください。タオルも買おうね。

ちなみにここは標高 980m ぐらいです。笹子峠に戻ってるやん……。

12:49 月見うどん

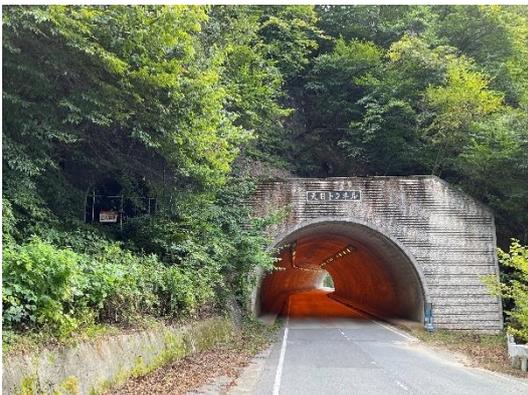


お腹がすいてきたので温泉のレストランで昼飯を食べました。売店にはシャインマスカットが置いてあり、一房 1,404 円！？そんなに高いのか。せっかく山梨に来たのだからぶどうを食べてみたいとは思うけれど手が出ませんね。

さて、ここから河口湖の宿までは 40km ちょっとなので一か所どこかに寄りたい。そこで前々からマークしていた林道を走ることにしました。温泉から 2km ほど下

ったところが林道の入り口です。再び天目トンネルへ、おっと見逃すところだった。左の写真の左側に旧トンネルがあります。きっとほとんどの人は気が付かないのでしょうか。

13:08 自転車乗りも気が付かない

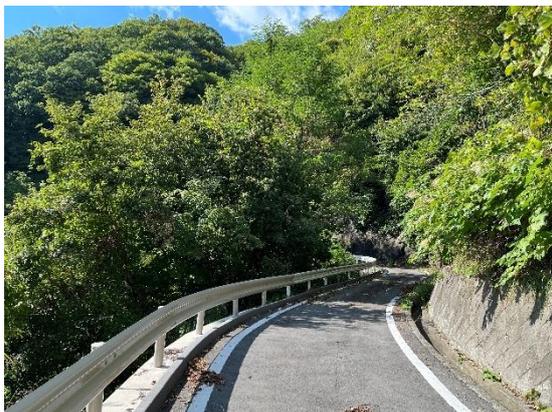


13:09 旧トンネルの反対側



天目トンネルの甲斐大和側手前には旧道分岐があり、旧天目トンネルの脇道を更に行くと林道大蔵沢大鹿線がありますが崩れている模様です。今回のターゲットは林道大志戸線です。なぜかストリートビューが存在しており、竜門峡のところで県道からは川を渡って逸れます。ピークまでは3.5km200mUP ほどですが最初の方に急傾斜が集中しています。

13:28 遊園地かよ



眺望は微妙……、絶妙に緑が邪魔をして眺望は開けません。この林道で面白かったのがとにかく道が狭いのです。1車線ギリギリ分しかなくその割に路面が綺麗で、遊園地のコースかよって楽しみながら走りました。楽しさへ繋がる要因として新鮮なもの・体験というのは1つ挙げられるでしょうね。路面が綺麗とは言いましたが林道の割には綺麗ということには注意されたし。道は狭いですがたまに待避所があります。

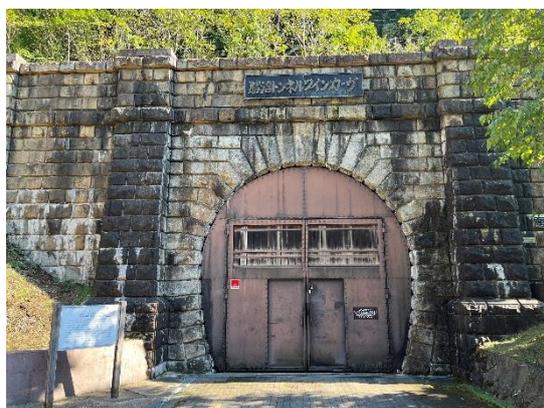
13:55 ドキドキゲート



頂上には展望塔がありますが利用禁止になっていました。調べたところ、上っても眺望は悪いみたいです。下りは少し路面が悪かった印象です。最後の方に害獣侵入防止用の手動扉がありましたが、扉に高電圧危険と書いてあり少し悩みました。電気柵って扉の両サイドについてあるやつだよな……？怖かったのでスマホを使って(物理)扉の金具を外しました。後で、素手で触ったけれど電流は流れませんでした。

ゲートを越えるとぶどう畑、しばらく行くと集落に出て上日川行き県道に合流します。14:03 甲斐大和に戻ってきました。ここからどうしようかと言うと、御坂越えは必須でありチェックインが18時なのでもう河口湖に向かった方が良さそう。まずは御坂峠麓のコンビニを目標に、道中には中央本線甲斐大和一勝沼ぶどう郷間の旧線があるのでトンネルを探しながら走ろう。

甲斐大和から甲府盆地へ下る R20 は走っていて気持ちよかったです。ちょっと R20 からは逸れて 1000mUP すると中央本線旧線のトンネルを利用したワインの貯蔵庫があります。その名を勝沼トンネルワインカーヴ。「見学に来たの？なら先に入って。後で名前書いてね。」ということでまずはトンネル内の見学をします。





貯蔵庫の隣にはもう一本中央本線の旧トンネル、1.4kmの大日影トンネルがありますがこちらは通れません。4年前までは通れたそうで、通行再開の展望は今のところないと伺いました。これが通れたら駅まですぐなのよね。

ガイドのおじさんと夫婦1組と一緒に貯蔵庫を見学します。トンネル内の気温は17℃。地元の業者と東京などの個人が使っており、使用料が年間で5万円とかだったかな。一番多い人で4,400本入れているとも言っていました。



ガイドのおじさんと少し話します。「どこから来たの」「東京、文京区ってところですよ」「良いところじゃない、東大？」旅先で大学名を話すことは何回かあったけれど文京区→東大を連想する人が結構います。まあ会話の内容は割愛。「良い先輩に着いて行くことだね。」他にはお兄さん2人組が河川隧道に盛り上がっていました。ガイドさん曰くその扉を開けてぶどう畑を通してあそこのテープがあるところにもう一回扉がある。そこから川に降りられる、行ったことないけど。お2人は挑戦したようですが斜面が急で降りられなかったようです。「行けました？」「いや—無理だった。」再びガイドの人と話します。「笹子の旧道か—、どうだった？」「車が少なくて雰囲気も良かったです。」「さっきやまと天目山温泉に行ってきました。冷たいのが良かったです。」「あ—ほんと、あそこは良いよ。」「因みに嵯峨塩はどうですか？」「いやいや、天目が一番良い。あそこは不倫で行くところ。大月の方にも真木温泉っていうのがあるんだけどね、そこも不倫で行くところ。場違いかもw」お兄さんらは天目を知らなかったのをおすすめしておきました。

これ以外にも交わした言葉はあるけれど、僕が嵯峨塩鉱泉を知らなかったらこの会話は生まれませんでした。知っていることで天目がいちばんだという個人の感想、また真木温泉にも話が広がりました(こっちも知っていました)。直前に調べたのではなく前から調べて知っていましたが、やはり下調べを少しでもした方が旅行は面白くなると思います。浅いところにある情報を9割所持した上で調べても出てこないような情報を現地で探す。自分の目で、現地の人に聞いて、そして必要なら元から行こうとしていた場所を切り捨てて。先月北海道に行ってきたのですが、この旅行を機に自分の旅行スタイルが固まったと思います(でも考え方は変わるもの)。レポートはNC時代最後の記事として300ページぐらいで出します。(←追記：絶対無理)だって後閑杯に参加するだけで多少端折っても20ページ書けそうなのだから、100や200なんてすぐ行くでしょう。

ワイントネルから R20 へ復帰して甲府盆地へと下っていきます。山梨ということでぶどうのお店が見えますね。温泉での 1,400 円には驚きましたが、多少高くてもせっかく来たのだから食べたいな。R20 に戻ってすぐぶどう農園があったので自転車を停めて店の写真を撮ります。でもこのお店はスルー、どうしてかはよく分からない。観光を意識した作りに見えて反射的に避けたのかもしれない。しかし、結果的にこの判断がとても良かったのです。更に 130m 進んだところに再びぶどう農園、これは惰性でスルー。更に 160m、よしここにしよう。

14:47 入ったぶどう屋



「こんにちは〜。」なんか胡坐かいて作業をしていて、1 人近所から遊びに来た感じか？外にぶどうの入ったかごが 1,200 円で売られていて、温泉のものよりはずっと量が多いな。店内にはぶどうパックが 3 つ(緑 2 紫 1)。「これいくらですか？」「500 円で良いよ。」「えっ本当ですか？(良いよって何やねん、それにこの量がワンコイン??)」帰ってから調べてみると、この量なら東京だと数千円はするぞ……。



本当に 500 円で購入できて(持ち帰り用)、恒例のおしゃべりタイム。どこから来たかとか笹子の旧道が良かったとか。「ワインも良いですねー、飲みたいけど飲酒運転になっちゃう。」「フラフラしなかったらばれないよ。」(もちろん冗談)話していたら(多分)干しぶどうを 1 房くれました。そもそもぶどうを食べるのが久しぶりだし、シャインマスカットは初めて食べる気がします。実の甘いこと……！こんなに甘いのか。種はなくてそのまま食べられます。黄色をほっておいたら紫になるのだったか、あと糖度が 20 とか言っていたと思います。にしても粒が多いな、ごちそうさまでした。



「これ(持ち帰り)どのぐらいもちますか？」3 日はいけると言っていたかな、忘れた。「実はうちのはもちが良いんだよ。」

それにしても持ち帰りぶどうの体積が大きい。

持ち帰りぶどうは後のページで何度か出てくるのでその際に紹介します。

北海道でなくてもああいう旅行はできるのだということが分かって嬉しかったです。

残るは御坂越えのみ！まずは麓のコンビニを目指します。甲府の圧倒的盆地感を感じながら R20—K34—R137 と走ります。途中にはぶどう農園がありますが、観光農園が主であり観光客がちらほら入っていました。これはこれで楽しいだろうけれど、こっちに行かなくて良かったよ。

15:25 セブンイレブン笛吹御坂上黒駒店に到着。一時は 1,070m まで上げた標高を 460m まで落とし、今から 1,310m まで上げようとしています。おにぎり 1 あんぱん 1 ポカリ 1 を補給して最後の峠に臨みます。御坂峠への道は R137、また御坂みちと呼ばれ名前だけで走りたくありません(?)。峠スペックとしてはセブン—御坂トンネルと旧道の分岐が 9.4km497mUP5.3%、旧道分岐—御坂隧道が 5.6km329mUP5.9%です。気は進みませんがどうしても時間がなければ御坂トンネルでショートカットすれば良いでしょう。

15:40 出走、消耗したくないのでゆっくり上ります。



出発してすぐにリニアの橋梁が見えました。え？こんなところを通っているの？と最初は信じられませんが、地図を見ても何も出ないのでリニアだと確信しました。

ずーっと下を向いてダラダラ走っていたのでここからはあまり記憶がなく、旧道分岐に 16:27 到着。スバルラインと同じぐらいの坂のように感じました。宿の到着が 18 時なのでここから時速 12km で上れば余裕で間に合うか。



旧道はすごく快適でした。きちんと 2 車線あるし旧道とは思えない路面の綺麗さ、緩やかな斜度なのに車が全く来ないので。時間帯の影響もあると思いますが、上りで 1 台、下りで 1 台しか見ませんでした。笹子峠と同様におすすめできる峠です。17:01 御坂隧道に到着、トンネルの先には……。

富士山～。



頂上では5、6人が三脚にカメラを据えて突っ立っていました。お姉さんに写真をお願いして撮って頂きました。ちなみにカメラで何を撮っているのかと聞くと夕焼けを待っているそうです。「良いですねー、でも僕は宿があるから行かなきゃ。」17:10 ダウンヒル開始。河口湖側は少し路面が悪く、道も細かったです。御坂みちが降りるのは河口湖の東端であり目指している宿は西端にあります。河口湖まで降りてきてさあ残り数キロというところで……。

後輪パンク 17:34 残り 7.2km

これは間に合わねえ。まず宿に電話します。現在地とパンクしたので遅れるという旨を連絡します(これはマジでやろうな)。先月北海道でパンクした後輪がまたパンクとは運の悪いことです。

17:53 18分で修理完了



急いでいる時こそ慎重に。チューブを外してタイヤの内側を素手で確認します。よし、18:30までには着けるだろう。辺りも暗くなってきたなあと思いつつとても慎重に1kmぐらい走っていると……。

後輪パンク 18:04 残り 6.0km

は？

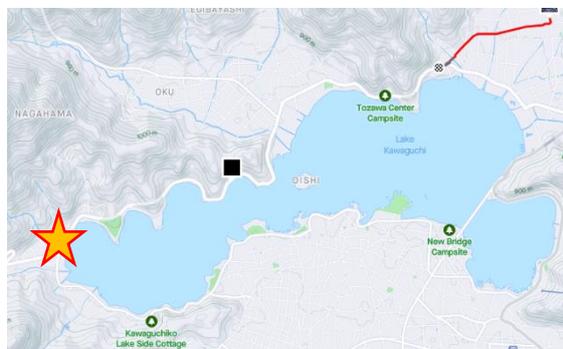
なんでやねん。辺りすっかり暗くなってしまい、とにかく空気を入れて少し走りますがすぐに抜ける。タイヤを見てみると接地面が削れている……？これが原因？

いずれにせよもう走れません。

君の旅はここまで。それならやる事は1つ。

端から端まで押してランニングや

道が本当に暗くて街灯がほとんどない。



18:20 何も見えないし道が狭い



最近ランニングしていて良かったわ！！

後閉杯はどうしよう！ここまで来て走れません。悲しいんやが。最初はまだ東京にいる人にタイヤを買って明日持ってきてもらおうかなとか思ったけれど、自転車屋を探すことに。ちょっと外部の助けを借りて調べてもらおうと小林輪店ってところがあるらしいから電話することに。

18:29 電話 残り 2.7km

700C×25 か 23 のタイヤってありますか？と聞いたらあるらしい。「ちょっと明日の 10 時から走らないといけなくて……」「なら日曜はゆっくりしようと思ってたけど、9 時前にお店開けるわ。」
「ありがとうございます、それでは 9 時前にお伺いいたします。」 **タイヤ確保。**

後は走るだけです。1 ページ目で書きましたが、河口湖は去年の後閑杯前に1周走っているので道は見覚えがあるのです。途中でパトカーを 2, 3 回見かけて、遂には僕の後ろで停車したのでこれは僕のことかなと思って自分から近づきます。「僕ですか？」「え、何が？」 ちゃうかったみたい、自分でも不審だと思ったけれど。



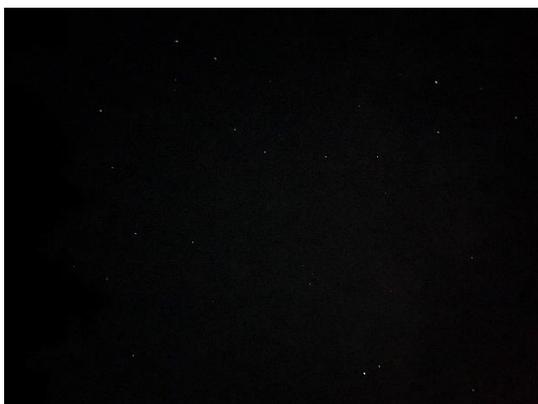
距離	平均ペース
6.10 km	7:05 /km
移動時間	獲得標高
43:13	10 m
カロリー	最高標高
466 kcal	843 m

18:52 宿到着

6.1km のキロ 7 か。走るとは言ったものの大部分は歩いてきた記憶があります。僕は歩くのがとっても速いのでこんなもんです。

チェックインして部屋に荷物をぶちまけます。流石に(主に心が)疲れて自転車を見る余裕はありません。20 時から 21 時が僕の入浴時間だったのでそれまで時間があります。次の問題が、**飯がない**こと。宿の近辺にコンビニはありませんし、食事処があっても全部閉まっています。走ってくる途中に自販機的位置だけは確認しており飲み物には困らないけれど。

ああ、宿は素泊まりです。お茶を冷蔵庫に用意して下さっていたので本当に飲み物は大丈夫。まあまずは自転車用の服を何とかしないと。水道場に洗面器があったので水とハンドソープに浸けて揉み洗い。水が垂れるので仕方なくゴミ箱で受けて明日水を捨てることに。ライトとバッテリーを充電して飯について考えます。どこかで読んだ記事では 3 時間前までに朝飯を済ませるのが良いらしいけれど、それ以前に晩飯を食べるか食べないか。我慢できなくはない(ぶどうも持っているし)、コンビニの場所を調べてみると 3.3km 先にあるみたいだ。僕の足なら往復 1 時間か、よしさっさと風呂に入ってコンビニに歩いて行こう。明日の後閑杯を考えて、今大事なものは晩飯をしっかり食べることと体をしっかり休めること、出来るだけ早くに寝ること。



20:38 夜のウォーキングスタート。街灯が全然ないし車がまあまあ頻度で通るのでフロントライトを持ち出して車にアピールします。

🌟 星が綺麗だ！ 🌟

イヤホンは外してスピーカーに。♪いちばん星 久々に落ちていて星空を見上げる。あれは確か 2 年前の 11 月、高尾山口が 1 時で大月へ自走する途中、国道 20 号で見上げた空と同じだ。あ

れがカシオペア座だから北極星はあれかな？じゃあ北斗七星は……。パンクせず予定通りに行っていればこの景色を見ることはなかったのかも？未来に何があるかは分からないものですね。

21:15 セブンイレブンに到着。ちょっと足が痛くて時速 6.5km しか出ませんでした。買うものは今すぐ食べる晩飯と今日食べるカーボローディング用食料と明日のもの。パスタにおにぎりにプリン、芋けんぴと柿の種(ピーナッツなし)とピーナッツとりんごの炭酸。コンビニの前に座って食べます。芋けんぴと柿の種とピーナッツ以外はその場で食べました。なぜ柿の種とピーナッツなのか？インターネットで調べたところカーボローディングでは炭水化物をとるのが良く、柿の種の成分表示を見てみると重量で 75g 中 65.5g が炭水化物で良いじゃんというブログ記事を見たからです。ピーナッツはカロリー爆弾かつコンパクトで軽量、あと安いのでよく買っています。

カロリーの化け物



炭水化物の化け物



帰りもまた星を見上げて帰ります。宿まで残り 700m というところで前と後ろから車が来たのでライトでアピール。すると後ろからの車が僕の横で停まって、「どこまで行くの？」と。「(別に心配せんで良いで)すぐその宿まで。ほんとにすぐ。」「なんてとこ？」「三なんだったかな、んーと三福。」700m ですが送って貰うことに。「さっきも歩いてたよね。」そうだけ、知らん。

飯を求めて

ラスト700mで車に拾われた



距離	獲得標高
7.23 km	31 m
移動時間	カロリー
1:03:11	551 kcal

7km 弱歩いて 22:08 宿に帰還。他のお客さんはまだ宴会をやっているみたい。帰ってきてカフェオレを淹れて布団にパターン。電話した自転車屋を調べると、ここから 5.5km だから 1 時間歩けば着けるな。自転車はもう自転車屋さんに任せる、頼む。つまりここを 7 時半までに出れば朝食込みで時間は OK だね。なら 12 時に寝て 1.5h × 4 の 6h は寝たいな。目覚ましは 6:20 に。カーボローディングで柿の種をバリバリと食べます。まあぶどうの写真を撮らなかつたぐらいには疲れていました。明日は後閑杯です。以上が後閑杯の前日、濃すぎます。

10/2 (日) 後閑杯当日

2:49 起床

なんで? 外にカフェオレを作りに行った気がします。飲んですぐに寝る。

5:49 起床

6 時間ぐらい寝られたようです。でももうちょっと寝ますか。

6:42 起床

さて活動開始! 芋けんぴとぶどうを消費します。



10 個既に食べた状態ですが、昨日 500 円で買ったシャインマスカットです。めちゃくちゃ多くて、食っても減らない。カロリー/重量の効率が悪そうということで 15 粒に留めておきました。後に数えたところ 78 粒入っていました……。500 円でこれはやばすぎるでしょう。

なぜか減ったぶどうがカバンに入らないのでビニールに提げて歩きます。



これは窓から河口湖を眺めた景色です。いやあ天気が最高ですね。

7:34 出走。と言っても走れないのでぶどうを提げて 5.5km 押し歩きます。目指すは昨日のセブン、そして小林なんちゃら。セブンではおにぎり 2 つと柿の種のみを 1 袋買って行きます。そして 8:40 小林輪業、よし着いたかな。

おじいさんが奥で作業をしています。「こんにちはー、昨日電話させて頂いた者です。」「電話? 何時ごろ?」「えー、19 時前です。今日の 10 時から走らないといけなくて。」とりあえず自転車を見せます。やっぱり後輪のタイヤが原因らしく、経年劣化によるところらしい。中国製のタイヤはあったものの、ちゃんとしたものがあるか探してくると奥に引っ込みます。



えっとですね、店を間違えたようです。

電話したのは小林輪店(徒歩 9.5km)ですが、店の場所を小林輪業(徒歩 5.5km)のものと勘違いしていました。でも輪業の方でも何とかなりそうじゃない? とりあえず輪店さんに行けないと謝罪の電話を入れます(8:51)。

700C×25 のブリヂストンのタイヤがありました！ただただ運が良かったです。後閑杯は何とか走れるか。チューブは持っていた最後の1本を使って後輪を走れる状態にします。ありがたいのですが話が長かった……(10時世界遺産センター集合)。昔はこの辺りに自転車屋が何軒もあったけれど今ではここだけだそうです。6,000円の出費となりました。



自転車を押しながら左手にはシャインマスカット、そして柿の種を食べながら進みます。試し乗りは着いてからやろう。ハイエースに乗った金子君とすれ違って着いたのだという実感が湧きます。



9:44 集合場所に到着

この写真は青木先輩にお願いして撮って頂きました。襷のようにタイヤをかけて片手にビニール袋と柿の種を提げて自転車を押していたのにはこれだけの背景があったのですよ～。

試し乗りをしたらパンクせずに走れて安堵します。残りの柿の種を食べて気持ちを切り替えていきます。

後閑杯に来た理由ですがタイムを狙いたいというより人に会いに来たのです。しばらくぶりな方がたくさん。4年生は僕しか来なかったけどね！！

ここまでの走行をまとめていませんでした。

自転車:88.12km, 2,683mUP

徒歩+ラン:20.74km 睡眠:3時間, 7時間

まあ言い訳にするつもりはありません。



10:54 頑張るで、天気は最高や。



目標タイムは105分。1分インターバルで僕は10番目のスタート、真後ろはママチャリの本田さんです。頑張るで逃げたいところ。それに2年生が明らかに速そうだけど負けたくないな。去年の2時間が12.8km/hぐらいだったから14は維持したい。

(多分)10:54スタート。前には9人。最初は抑えるべきと3年前に聞いたけれどタイム狙いなので踏んでいきます。ギアは基本的に変えず一定の出力で走ろうとした気がします。せめて最初の信号どうにかなりませんかね。信号に引っかかっていた一人を抜きさります。17km/hぐらいで走っていて料金所まで行きますが前が見えない。割とすぐに西村さんら2人を抜き、前には残り6人。1年生もすぐに見えてくるだろうと思っていたら上っても上っても前が見えない。5%でない緩む区間でスピードを上げて、息が苦しくなったら意識的にパワーを落とします。上って上ってようやく前の集団が見えたのが半分の12km地点で11:36。3人を捕捉しました。一般サイクリストも何人か混ざっていて書いている以上に追い抜いているのですが。残り3人。予想外にかなりいいペースで上れていて、Stravaを確認すると16.81km/hの表示。そこから少し行くとOBの方を1人抜いて残り2人。明らかに強そうな2年生たちとの勝負になりました。もし追いついたらそこから一緒に走ったとして3分のアドがあるから1位を取れるのでは？同じ出力を刻み続け先頭を捕捉したのが16km地点過ぎ。中々追いつかず、追い抜いたのが18km地点手前。全員抜いたぞ。引き離そうとしたら鎌田君が着いてきます(やめて……)。彼らはまだ余裕がありそうでした。残り6kmだよ(勘違いしてこれ間違い)と教えていたら前田君が猛烈なアタックを

かけてぶち抜いていきます。鎌田君もそれに着いていき、あっという間に離されてしまいました。何だそれ？ここから体力が切れ始めてしまい 21km 地点からの落ちは酷いものでした。コース全体を 24km だと思っていて残り 3km だと思って走ってみるもゴールが見えない。全体では 25.4km なのですよ……。このため最後 1.4km は気持ちも切れてしまい 1 時間半を切ることはできませんでした。12 時 27 分到着。

後で聞いたタイムは 1 時間 32 分 39 秒で 4 位。大躍進ですが 3 位とは 1 秒差だったそうです。3 位入賞はしなかったものの去年の 2 時間から 26 分更新したということで伸び賞を頂きました。言い訳にする気はありませんが、フラットペダルで走っています。また、水分 0 はまずいかなと思って 500ml ペットを持ちましたが結局 1 度も飲まず、5 合目まで運搬しただけでした。あれ、自分って意外と走れたりする？明神祭で死んでいたのって熱海まで自走するからなのでは？ランニングを続けて来年があれば更にタイムを伸ばしたくなりました。

写真撮ってないや。駐車場で座ってシャインマスカットをずっと食べていました。青木さんに 1 つあげた。水分とれるからいいね。僕は間隔をあけて同じことをするというのに拘ってしまって、例えば同じ場所に行くたびに同じ構図で写真を撮っています。3 年前の後閑杯は天気が良く、駐車場から山の中へ下ったところにある展望台に自転車を担いで行きました。去年の悪天候の中も担いで同じことをしたし、今年ももちろんします。毎年単独行をしているな。1.52km66mUP。



今回はいつもより奥まで担いで奥庭展望台に行きましたが、微妙でした。

2019年10月20日



1時間50分30秒 天気が良かった
(交互通行で1分ロス)



2021年10月16日

1時間59分44秒 天気最悪

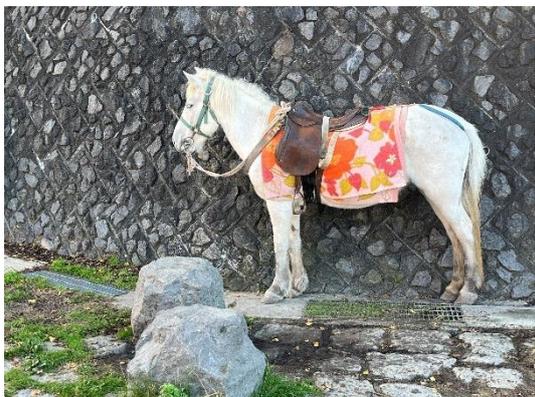


2022年10月2日

1時間32分29秒

3位と1秒差という結果だし1位とも然程差がないという結果でしたが特に悔しくは思いませんね。景品を貰えたからかな？まあ最後の後閉杯が最高の天気の中行えてかつタイムも大幅更新できたので悔いることはありません。

14:19



五合目から馬に乗れるのは知りませんでした。前日にタイヤを壊しているのでダウンヒルは慎重に。この日はパンク恐怖症になってしまいました。そして解散、お疲れさまでした。企画・サポートありがとうございました。帰りはどうしようか、道志道に行こうと思っていたが流石に却下、富士山駅か大月駅かなと思っていたら岡先輩の車に乗せていただけることになりました。本当にありがとうございました。

16:21



先輩達に着いて行って玉喜亭うどんへ。880円。帰りは中央道ではなく東名から帰りましたが、渋滞続きで時間がかかります。足柄SAに18時前、78粒のシャインマスカットは残り7粒に。先輩に1つあげて0粒に。21:02 東京で降ろしていただきます。先輩、運転お疲れ様&ありがとうございました。

7:42 起床 日常へ。

タイトルは思い出が蓄積してきたというものでした。そんなに深い意味はなく、今年はNC4年目で最後の年。色んなところを走ってきてふとしたことから過去の記憶が表に浮上してくるし、ランとランの繋がりを感ぜられるなあってね。各ランを頂点とした有向グラフのイメージです。Stravaを見ていたら1年前のライドを提示されて懐かしむことがこの頃あります。最近だとコロナ前、3年前に花火大会を見に行ったのだな〜とか教えられました。2022年10月6日12時22分

【告知】

2022年9月、再び北海道に行ってきました。

冒頭に面白いことが寄ってくると書きましたが、これは違って全て自分が選択した結果。

去年も北海道に行き普通じゃないような旅行をして、記事も610ページ書きました。

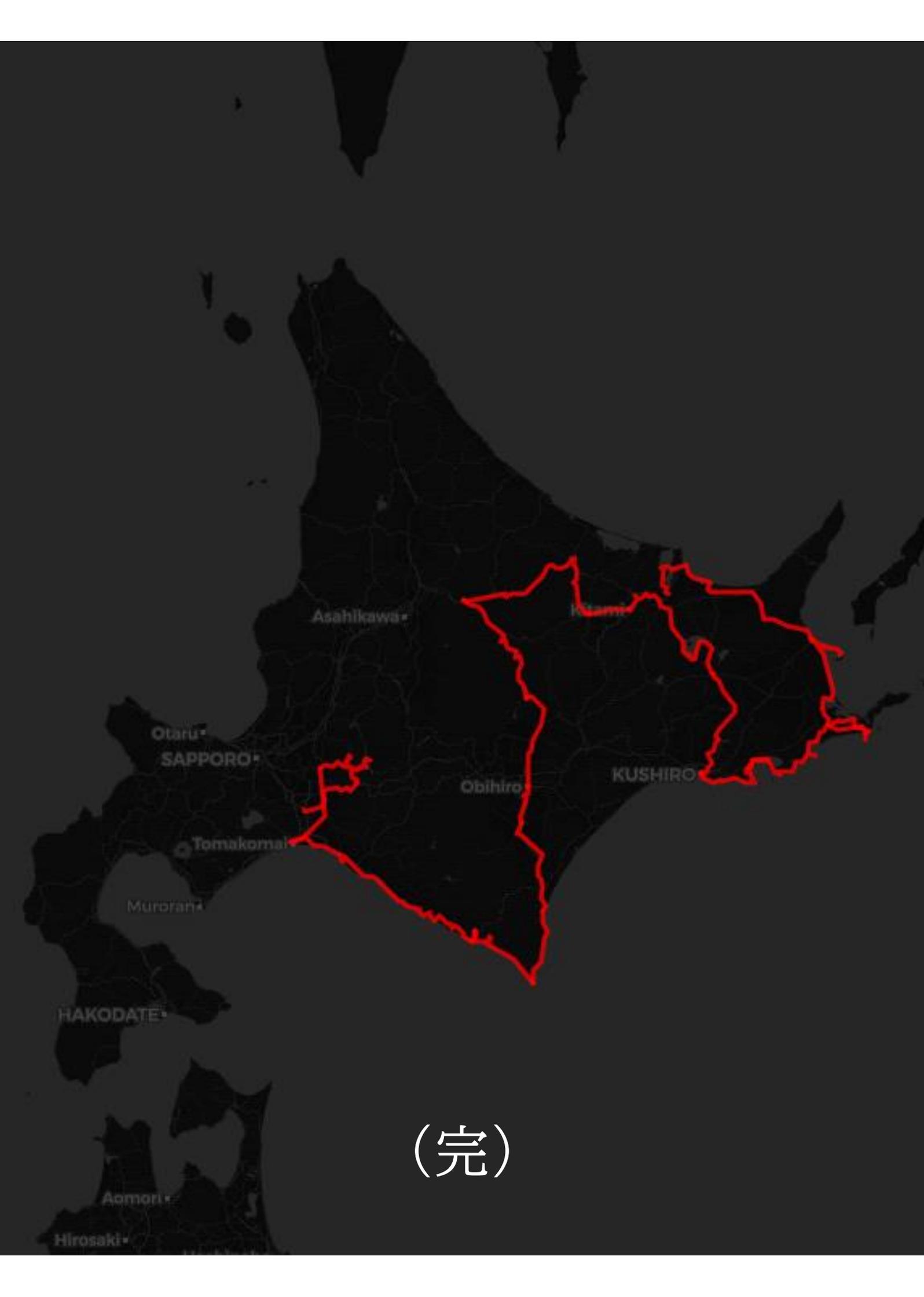
しかし今年の旅行はそれを越える面白さ、凄さを備えたもの、まさに集大成となりました。

基本的に僕の旅行自慢ですが、自慢だけに終始しない記事を書くつもりです。

面白いので端から端まで読んでね。研究優先で3月までには出します。

そうだな、書き出し(仮)は

「心に強く残る、心臓がドキドキするような景色を見たことがありますか？」



(完)